



厩舎越しの「樽前山」(第12G)

Rotary International District 2510

**GOVERNOR'S**

**Monthly Letter**

2022-2023 ガバナー月信

12

2022 Dec

No.6



**国際ロータリー第2510地区**

**2022-2023 年度 ガバナー 石丸 修太郎**

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F

TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512

E-mail: rid2510@pxva.ne.jp <http://rid2510.org>

## 2022-2023年度 国際ロータリーのテーマ 「イマジン ロータリー」



### 国際ロータリー第2510地区 2022-2023年度テーマ

## 「ロータリーに想いを馳せる」 ～明日のロータリーに夢を込めて～



#### 【地区目標】

- ① クラブの将来像を打ち立てる
- ② より多くの会員の参加を得てクラブにおいて新たな事業に取り組む
- ③ 青少年への支援を発展・充実させる
- ④ ICTも利用して交流の輪を広げる

### CONTENTS

●ガバナーメッセージ -----	1	●国際大会案内-----	24
●疾病予防と治療月間にあたり-----	3	●ガバナーノミニー候補推薦のお願い-----	26
●ポリオキャンペーン報告-----	4	●ガバナー四方山話⑥-----	27
●国際奉仕・VTT検証ツアー報告-----	5	●新会員のご紹介/訃報-----	28
●青森県大雨災害義捐金報告/ロータリー研究会参加---	9	●月信委員会からのお知らせ/事務所移転のお知らせ--	29
●ガバナー公式訪問-----	10	●表紙の解説（第12グループ）-----	30
●米山奨学生紹介-----	23		



## ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2510地区

2022-2023年度ガバナー

石丸 修太郎

(札幌西RC)

遅い冬が訪れ、師走の慌ただしさが街中で感じられるようになりました。さて、先月号では札幌ライラックRCの訪問までを掲載しました。その後は地区大会の準備で繁忙を極めておりましたが、10月9日には隣の第2500地区の地区大会に参加するため旭川に行って来ました。実に伝統に則った地区大会で久木佐知子ガバナーの堂々とした振る舞いに感心して来ました。

その翌週は当地区の本番でした。自分は地区大会の前日から来道された第2750地区富澤ガバナーの接待から始まり、14日のゴルフも一緒に回りましたが素晴らしい天気恵まれてラッキーでした。夕方からは会長・幹事会と指導者育成セミナーが開催され、その後は楽しい懇親会。それが終わったらお越し頂いた他地区のガバナーさん達をお連れしての美味しいラムしゃぶのお店で個室を貸し切りパーティーで大いに盛り上がりました。

翌日は本会議と特別企画「RYLAセッション」と表彰式と順調に進めることが出来、最後に二日目の懇親会で盛り上がり、最後は手に手をとっての締めとなりました。2次会はプリンスタワーのトップで夜景を楽しみながら会話に弾みつつ飲みすぎでした。

最終日の16日はロイトン札幌でユース・フォーラムでした。午前のインターアクトの生徒さん達の初々しい姿にすっかり魅惑され、午後のローターアクトのセッションでは具体的な活動や設立の意義を学ぶことが出来ました。

終わってしまうと本当にあっという間でしたが、ユースに的を絞った心に残る地区大会ではなかったかと思っております。

地区大会を終えてやれやれという暇もなく、コロナ禍で訪問を延期していた羽幌RCに向かったのは19日の昼過ぎで、札幌を出て3時間弱で到着してみると、クラブの幹部の方がお待ちされていて、抗原検査を受けた上での懇親会で温かく迎えていただきました。

翌日はとても天気が良く天売島や焼尻島がきれいに見えるところで例会が開催され、無事に札幌に戻ることが出来ました。

翌週月曜日24日は世界ポリオデーで、第2500地区との合同事業、北海道のFMラジオ局全てからポリオの発信をするプロジェクトの一環で、FM North WaveとAIR-G'に出演しました。短い時間でどれだけ発信できたか心元ありませんが、兎に角出演できたことは嬉しい記憶となりました。

25日は札幌モーニングRCにおいて会長・幹事懇談会とクラブ協議会がありましたが、例会を朝執り行うために、前日の夕方に開催されその後は楽しい懇親会となりました。26日の朝は清々しいお天気で、ラジオ体操にはピッタリで、朝食も美味しく素敵な例会でした。帰り道に法務局に寄って書類を取って職場に戻ってみると丁度9時で朝の例会も悪くないものだと感心した次第です。

その日のお昼は札幌RCにお邪魔しました。今年創立90周年となる伝統のあるクラブは130名以上の会員を抱え実に豊かなロータリー活動でいろいろ勉強させて頂きました。グランドホテルの大宴会場での例会は迫力あるものでした。

27日には札幌西北RCに伺いました。三越の会場はホーム・クラブと同じで、アットホームな感覚での訪問でしたが、会長・幹事さんがペアで地区大会の司会を務めて頂いた御礼もそこそこにいろいろとクラブ活動について伺い、会員増強の取り組みでは大いに勉強することが出来ました。

29日は10月最後の訪問で、場所は同じく三越で札幌手稲RCに伺いました。土曜日が平日より混むとは知らず駐車場に何時も通りで行くと、約束の時間ギリギリの到着となってしまいましたが、温かく迎えて頂き、地区のRLIの委員長を務めて頂いている平川会員が会長ということで、とても打ち解けたムードでの訪問となりました。

11月1日は、自分のホーム・クラブ、札幌西RCへの訪問でした。プリンス・ホテルでの訪問でしたが、これまでにいろいろなクラブを訪問した後のせいでしょうか、新鮮な感じを受けました。会長の川村会員の気遣いで楽しくお話しをさせて頂きました。

クラブ訪問の大取となったのは函館セントラルRCで11月15日に函館国際ホテルにて訪問をさせて頂きました。とても礼儀正しく、お出迎えから最後の見送りまで素敵な時間を過ごすことが出来ました。これで69のクラブをすべて訪問することが出来ました。

クラブ訪問にお付き合い頂きました、ガバナー補佐の皆様、地区幹事の皆様本当にありがとうございました。多くの訪問は自分の車でドライブを楽しんで居りましたが、総走行距離は5,000kmで済みましたので、効率よく回ったのでしょうか。それにしても、クラブ訪問ではとても良い経験を積むことが出来ました。クラブの皆様へ感謝です。



様々な例会での食事も堪能させて頂きました。

また11月に入って第2520地区と第2530地区の地区大会に参加して来ましたが、他の地区の活動を見ることはとても良い刺激となりました。特に2530地区の大会ではインターアクト、ローターアクト、青少年交換留学生、米山奨学生の皆さんが壇上に上がり色々な発表をされており感心して戻ってきました。同じような規模の地区で向こうには22のインターアクトクラブがありました。



## 疾病予防と治療（風邪）

国際ロータリー第2510地区 ポリオプラス委員会

委員 伊藤 利道  
(札幌南RC)

11月の月間テーマは「疾病予防と治療」ですが、ここでは新型コロナウイルス感染症にも関係のある「風邪（かぜ）」について解説します。

### I. 風邪の原因

風邪（かぜ）は、正式には「風邪症候群」といって、上気道（鼻やのど）の急性炎症の総称です。ウイルスが粘膜から感染して炎症を起こすため、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、のどの痛み、咳、たん、発熱といった症状が起こります。

原因微生物の約90%はウイルスが占めており、残りの約10%は細菌、マイコプラズマ、クラミジアなどウイルス以外による感染です。

風邪（かぜ）ウイルスの数は200種類以上といわれており、同じウイルスでもいくつもの型があり、それが年々変異します。このため、一度感染したウイルスに対抗する免疫ができたとしても、次々に新しいウイルスに感染するため、繰り返し風邪（かぜ）をひいてしまいます。

なお、新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスは風邪（かぜ）を起こすウイルスとは異なり、症状の重さも異なるので、別の病気だと考えておいた方がよいでしょう。

### II. 風邪の予防

1. 風邪（かぜ）は人から人へうつるものです。風邪（かぜ）を予防するには、流行期には人混みを避け、衛生面に気を配って感染ルートを遮断するのが第一です。

感染者が咳やくしゃみをするとうイルスを含んだ唾液や鼻水が飛沫となって飛び散るので、風邪（かぜ）をひいている人に近づかないようにしましょう。

電車のつり革や室内の家具などに付着したものを触った手を介して感染することも多いため、手洗いも大切です。

うがいはホコリや細菌を洗い流してのどや口腔内の粘膜にウイルスが付着するのを防いでくれます。

#### 2. 風邪をひかない体づくり

空気中のウイルスを完全に遮断するのは難しいことです。日ごろから、風邪（かぜ）をひかない体づくりに努めましょう。

##### ①温度・湿度コントロール

冬に空気が乾燥すると、鼻やのどの粘膜が乾燥して体の防御機能が低下し、ウイルスに感染しやすくなります。また、夏場の冷房や冬の寒さなどで体が冷えると、血液循環が悪くなり繊毛運動が弱って、ウイルスが侵入しやすくなります。室内の温度や湿度を適度に保って、感染しにくい環境を整えましょう。

##### ②十分な栄養と適度な運動

偏食を避け、バランスよく栄養をとることが大切です。風邪（かぜ）の予防効果を高めるためには、ビタミンCやビタミンB群を多くとることがポイントです。アミノ酸の豊富な動物性たんぱく質を食事に取り入れるのも効果的です。

ウォーキングや水泳、ヨガなどの適度な運動で風邪（かぜ）に負けない体力をつけ、免疫力を高めることも大切です。

##### ③薄着の習慣をつくる

厚着の習慣は体温調節の能力を低下させ、抵抗力を弱めてしまいます。薄着にすることで気温の変化に皮膚や粘膜が順応できるよう鍛えましょう。

おわりに

風邪は数日で自然に治癒することが普通です。症状が1週間以上続く場合は医療機関で検査を受けた方が良いでしょう。



## 北海道ラジオキャンペーン・ポリオデー

国際ロータリー第2510地区 公共イメージ向上委員会

委員長 松倉 弘  
(小樽RC)

当地区の石丸ガバナーと国際ロータリー第2500地区の久木ガバナーがオール北海道で初の試みではあるが何か出来ないかという事で、10月24日の世界ポリオデーに合わせて、国際ロータリー第2500地区と第2510地区の共同で、全道において地域のFMラジオ局があるロータリークラブにご協力を頂き、FM局を使ってFM局のパーソナリティーとロータリアンとで対談方式でロータリーの紹介とポリオ根絶活動についての説明を行ってポリオデーのキャンペーンをして頂く事にしました。

10月24日の当日は、各クラブも積極的に参加を頂き地域社会に対してロータリーの情報を発信して地域社会との関わりが深めることができ、ロータリーの公共イメージ向上と認知度向上が地域社会において図られたと思っております。

地区としての活動においても、全道エリアをカバーするNORTH-WAVEとAIR-G'の両FM局を使いまして一回の出演時間は短いですが、数回に分けてロータリー及びポリオのお話を行い、FMラジオを通して北海道の全地域に対して公共イメージ向上及び認知度向上に繋がる事ができました。

NORTH-WAVEでは10時15分よりFM局のスタジオから石丸ガバナーが生出演でロータリークラブとはどんなクラブなのか、ポリオとはなんなのか、どうしてポリオ根絶キャンペーンを行っているか、国際ロータリーがポリオ根絶のためどのように取り組んでいるのか、今のポリオの現状はどうか、今後もワクチン接種のために大きな資金を必要としている事などをお話されまして、パーソナリティーもノリがよく大変盛り上がったため予定時間より大幅に時間を超過してしまいました。13時25分からは地区ポリオプラス委員会の伊藤委員がFM局のスタジオから生出演でポリオ根絶のお話をして頂き、15時42分からは第2500地区のポリオプラス委員会の佐野委員長が遠方のためスタジオから電話で出演をして頂きました。



AIR-G'においては、9時46分より第2500地区久木ガバナーにスタジオから電話での出演でロータリーのお話をして頂き、12時20分からは第2510地区ガバナー事務所より中継レポートで、石丸ガバナーとポリオプラス委員会の志田委員に出演頂きまして、戸田レポーターと絶妙なやり取りを行って頂き、無事に放送を終了する事ができました。

中継で驚いたのは、最近のラジオ中継では大きな中継機材は必要がなく、スマートフォン一台有れば中継が出来て、スタッフもレポーターともう一人いれば賄えることでした。

今回のラジオキャンペーンに参加して頂いた各ロータリークラブに心よりお礼と感謝を申し上げます。



## 2022-23 国際奉仕・VTT委員会 検証ツアー

国際ロータリー第2510地区 国際奉仕・VTT委員会

委員長 **富岡 豊**  
(静内RC)

2005年に「地区世界社会奉仕（WCS）検証ツアー」として始まった、事業確認の為の訪問…。COVID-19の感染拡大で長期間渡航が叶いませんでしたが、2022年11月1日～6日、人数制限を備けた中「国際奉仕・VTT委員会 検証ツアー」が実施されました。この度は、コロナ禍の中でクラブの皆様から申請いただいた2021-22 環境事業、教育図書事業、WASH事業とそれ以前のグローバル補助金を含めた事業の様子の確認のために訪問しました。また、2022-23年度は、地区内31クラブより申請をいただいております。事業は、タイ東北第3340地区、タイ中央・カンボジア等、第3350地区と共同でタイ東北、カンボジア等で実施されました。また、過去のグローバル補助金、過去の事業についても、持続可能な事業となっているか？継続して子供達の未来が造られているか？を自分たちの目で確認しました。到着時、盛大な歓迎を受けて行程が始まりました。

### 【Ban-dua（バندوقア）保健所】

**WASH・水と衛生指導事業（WATER, SANITATION, HYGIENE）**

**水事業 2020-21（COVID-19支援事業）**

**WASH事業 2021-22（深川RC、留萌RC、砂川RC、静内RC、様似RC）**

Ban-dua（バندوقア）保健所にてWASH（水と衛生）事業の検証からスタートです。COVID-19の感染拡大でほとんどの集落がロックダウンとなり、スラムへの物資支援、手洗い・衛生指導が緊急の課題となり、保健所とロータリーがチームで実施。保健所にきれいな水がなかった為、浄水装置も設置されました。当時多くの方が重症化し、亡くなられた方も多く感染拡大する中、子供達や集落の村人たちへ保健所の専門家からの指導が行われ命を救った浄水装置はきちんと保健所の皆様へ管理され、引き続き地域の「水と衛生」に大きく寄与していました。

### 【Ban Si Gai School（バン・シーガイ）学校】

**水と衛生事業 2020-21（札幌RC、札幌北RC、札幌モーニングRC、札幌手稲RC）**

**WASH 事業 2021-22（新札幌RC、小樽RC、小樽銭函RC、余市RC、千歳セントラルRC、えりもRC）**

**教育・環境事業 2021-22（江別RC、江別西RC、岩見沢東RC、札幌RC、札幌北RC）**

コロナ前は子どもたちと一緒に食事したり、歌ったりとふれあいの交流をしていましたが、まだ感染対策が必要な中のため、お土産の御菓子を子ども達に渡し、先生達とも対面で交流しました。校長先生から「ロータリーの皆さんからは、以前より多くの支援をいただき心より感謝申し上げます。子どもたちは特に絵本の支援にとっても喜んでおり、読書を楽しみにしている」とのお言葉をいただきました。

コロナ感染拡大の中WASHの大切さを痛感しました。

これらの小学校や国境にある公共施設等に手洗いスタンドが設置されました。



【Ban Prao Nue School (バン・プラオ・ヌエ) 学校】

・水と衛生事業 浄水装置2018-19 (小樽RC、小樽銭函RC、余市RC、登別RC、苫小牧北RC) GG18 91293 パイロット持続可能化修繕事業

・WASH 事業2021-22 (札幌RC、札幌北RC、札幌モーニングRC、札幌手稲RC、札幌東RC、札幌南RC)

・教育・環境事業2021-22 (札幌南RC、小樽RC、三石RC、静内RC、室蘭RC)

こちらも同様に、お土産の御菓子子ども達に渡し、先生達とも対面で交流することができました。

【メコン川沿岸 Save Mother Maekong クリーングリーン活動】

環境グローバルへのトレーニング 構築中

環境保全・グローバル補助金事業のパイロット事業として、ラオスとの国境にリサイクルボックスを設置。メコン川沿岸の清掃活動を副市長・市職員・市民ボランティア・職業訓練事業を行ってきたノンカイ技術訓練校、ASEANカレッジのローターアクトターとともに清掃活動を行いました。

消防車で放水しながら、100人以上が竹箒で掃除をするという壮大な活動は圧巻でした。

対岸はラオスのビエンチャンです。島国に住む日本人として、なかなか味わうことのできない「国境」にいる感覚を味わいました。

【公立公園で清掃事業 Save Mother Maekong クリーングリーン活動】

・WASH事業 2021-22 (小樽銭函RC、室蘭北RC、登別RC、函館RC、七飯RC、函館セントラルRC・函館五稜郭RC)

・環境事業 2021-22 (砂川RC、札幌RC、札幌北RC、小樽RC、三石RC、浦河RC、静内RC、函館五稜郭RC)

ノンカイ副市長・市職員・市民ボランティア・職業訓練事業を行ってきたノンカイ技術訓練校、ASEANカレッジのローターアクトターとともに清掃活動を行いました。

同様に消防車で放水を行いながら、100人以上が竹箒で清掃活動をしました。また、設置されたリサイクルボックスとWASHスタンドも確認。限られた時間でしたが充実した活動ができました。

なお、ラオスとの国境付近でも同じくWASH事業、環境事業が行われています。





【ノンカイ市庁舎の贈呈式 奨学金事業2022-23（札幌手稲RC）】

市庁舎で贈呈式が開催されました。冒頭ではノンカイ市長からの感謝と歓迎の御挨拶があり、ノンカイ職業訓練校・技術訓練校・小学校への奨学金（札幌手稲）も生徒達へ直接授与しました。地域の皆さんの歓迎の様子から、私達の事業が国を超えて行われている実感をえました。その夜は、第3340地区による歓迎会も開催され、第3340地区ガバナー・パストガバナーと共にノンカイ市長も参加され、更に交流が深まりました。



【GG1526063 「タイ貧困学生のための、就職面接会及び識字語学教育を伴う 職業訓練キャンプ事業」(2014-15)】

このグローバル補助金から始まったロイヤルキングスクールは、親と暮らせない900人程の就学前～高校卒業までの生徒が、ポンピサイの校舎で暮らして学んでいます。前フミポン国王のアイデアで誕生した学校には、ラオス、ミャンマー、カンボジア等、また山岳民族の子供達もいます。

こちらでも歓迎のセレモニーが催されました。

歓迎式典、奨学金の贈呈式の後、現地で調達したお土産の御菓子を子供達に渡した後、学校内を検証しました。

GG1526063 縫製・製品製作訓練（デザイン、縫製、販売）

技術を身に付け、生きていく力を身に付けてもらうための1つとして、製品製作（デザイン、縫製、販売）を行う洋裁訓練教室です。

GG1526063 調理・商品製作訓練（調理・菓子政策、販売）

グローバル補助金事業スタート前は、物置のような空間に衛生的ではない古い調理器具等が散在していました。このグローバルにより、専門的な調理器具を教室に設置、換気等も整い整備されました。指導する先生の技術も上がり、基本的な調理から販売用スイーツの製作まで、技術が上がっているのが伺えます。これからの技術の向上がとても楽しみです。



### 芸術訓練新設

芸術訓練のコースも新設されています。

新型コロナウイルス感染拡大の中、タイ・ミャンマー・ラオスの子どもたち対象に絵画コンクールも行い、交流、支援を継続。また、画材の無い国境地域の子供達の支援も積極的に行っております。

ロイヤルキングスクールの校舎、校庭は、親と暮らせない子供たちである生徒全員が宿舎で暮らしており、とても広い敷地です。

もっともっと高度な技術を身に着け、自立し、世界に羽ばたいて欲しいと願っています。

また、カンボジア、プノンペン・メトロRCの西口三千恵さんが、プノンペンから遥々バンコクに来てくださいました。地区補助金事業 教育支援を行なっている状況などご報告をいただきました。

### 仏教学生への学習機材支援事業 2022-23 (第2510地区・千歳セントラルRC)

この度の事業訪問の最終行程になりますが、バンコクの仏教大学である、マハチュラロンコンラジャヴィディヤラ大学にて僧侶の卵の学生達へ教育資材の贈呈式が行われました。こちらは、今年度支援事業一つとして、第3350地区バンコク：クロントイRCと共同で実施。ソブンさん、チェリーさんにコーディネートしていただきました。

千歳セントラルRCの田口会員が地区を代表して挨拶されました。

初めての試みで訪れた場所ですが、仏教教育の予算は僅かということ。

継続支援を検討していきたいと感じました。

半年前までロックダウン中、未だコロナが終息していない状況で事業を粛々と進めてくれた現地のロータリアンには感謝しかありません。

そんな中でも、様々な地域から駆けつけてくれたロータリアン、間近に見ることができた子どもたちの笑顔。

観光気分は存在しない検証ツアーですが、今後も多くのロータリアンが現地でこの姿を目にしていただけると嬉しく思います。そして、子供達の笑顔を見て、今年度のテーマ「IMAGINE」のように、子供達の未来と一緒に創造してみませんか。

私達の「ロータリー財団」、「国際奉仕」の支援は、持続可能な未来に向け、多くの笑顔を生み出しています。



## 青森県大雨災害義捐金報告

地区内各クラブに募金のお願いを致しました、8月3日に青森県を襲った豪雨災害に対する義捐金について、下記53クラブから1,505,315円を頂戴致しました。

災害地域を管轄する第2830地区の義捐金口座にお振込みを致しましたのでご報告申し上げます。

皆様の温かいご支援ありがとうございました。

深川RC、羽幌RC、留萌RC、砂川RC、滝川RC、美唄RC、江別RC、江別西RC、岩見沢RC、岩見沢東RC、当別RC、札幌RC、札幌はまなすRC、札幌北RC、札幌モーニングRC、札幌西RC、札幌西北RC、札幌手稲RC、札幌東RC、札幌清田RC、札幌幌南RC、札幌真駒内RC、札幌南RC、札幌大通公園RC、岩内RC、倶知安RC、小樽RC、小樽南RC、余市RC、千歳RC、恵庭RC、長沼RC、三石RC、様似RC、静内RC、浦河RC、伊達RC、室蘭RC、室蘭東RC、室蘭北RC、函館RC、函館亀田RC、七飯RC、長万部RC、函館セントラルRC、江差RC、函館五稜郭RC、函館東RC、函館北RC、白老RC、苫小牧RC、苫小牧東RC、苫小牧北RC

## ロータリー研究会に参加して

国際ロータリー第2510地区 2022-2023年度ガバナー 石丸 修太郎

- 11月19日 ロータリー財地域団セミナー、同期ガバナー懇親会
- 11月20日 メジャードナー顕彰午餐会、RI会長・TRF管理委員長ご夫妻歓迎晚餐会
- 11月21日 ロータリー研究会、インクルージョン・ビュッフェ

上記のイベントに参加して来ました。

2020年は中止、2021年はRI会長がオンライン参加で、3年ぶりにRI会長と財団委員長が参加されたイベントでした。日本ロータリー財団の理事長千玄室さんも参加され楽しい時間となりました。研究会では環境分野で、ユニークなクラブの活動ということで、函館RCと千歳RCの活動を紹介しました。詳しくは次号で紹介いたします。



RI会長 Jennifer Jonesさんと



ご主人の Nickさんと



千 玄室さんと

# ガバナー公式訪問報告

※紙面の都合上や原稿の到着日により掲載順が前後する場合がございますのでご了承ください。

## 札幌南ロータリークラブ

10/3(月)

10月3日(月)、国際ロータリー第2510地区石丸修太郎ガバナー、平昌夫ガバナー補佐、久木利弘地区財務委員の公式訪問にて「クラブ協議会」、並びに「札幌南RC例会」が札幌パークホテルにて開催されました。

クラブ協議会は11時より12時20分まで、80分間にわたり札幌南RCの現状と今期の計画につき協議されました。クラブ奉仕担当7委員長並びに統括する池田達昭副会長、国際奉仕担当6委員長と齋藤友子副会長の計15名から各委員会の活動目標と現状が報告されました。ガバナーからのご意向もあり、各自のロータリー観につきましても発表内容に盛り込まれました。

札幌南RCの本年度基本テーマは「なごやぎの輪を二重に、そして三重に広げよう」と設定しています。「なごやぎの精神」は当クラブ設立以来受け継がれており、「和やか」「安らぎ」の気持ちで多様な会員同士(Diversity)が公平(Equity)に接し、結び合おう(Inclusion)というものです。新入会員を多く迎え二重の輪にし、各種福祉・支援団体との提携関係を深め三重に輪を広げ、奉仕活動を推し進めようとするものです。本年度に入り、4名の新入会員が加わり、基本テーマが着実に実現されつつあります。

各委員長の発表もクラブ基本テーマに沿ったもので、予定時間を超えるのではないかとと思われるほど積極的な発表が続きました。

石丸ガバナーにおかれましてもご理解ご賛同頂けたものと思っております。

12時半より、当クラブ例会が開催され、石丸ガバナーより卓話を頂戴いたしました。国際ロータリー、ジェニファー・ジョーンズ会長の「ビジョンと目標」である「イマジン・ロータリー」、石丸ガバナーの地区目標である「ロータリーに思いを馳せる」をご説明され、また、他ロータリークラブの先進的活動をご紹介いただきました。また、会員間の交流と親睦を一層高めるため、ファイヤーサイド・ミーティングの役割を強調し、新入会員を交えたFSM、委員会合同によるFSMなどの開催を提案されておられました。

まことに実りの多い「ガバナー公式訪問」でございました。

本年度も残り9カ月となりましたが、ガバナーご指摘の「青少年への支援を発展・充実」、さらに「クラブ会員間の関係性の深化」の分野について、一層の努力を致す所存です。



## 札幌清田ロータリークラブ

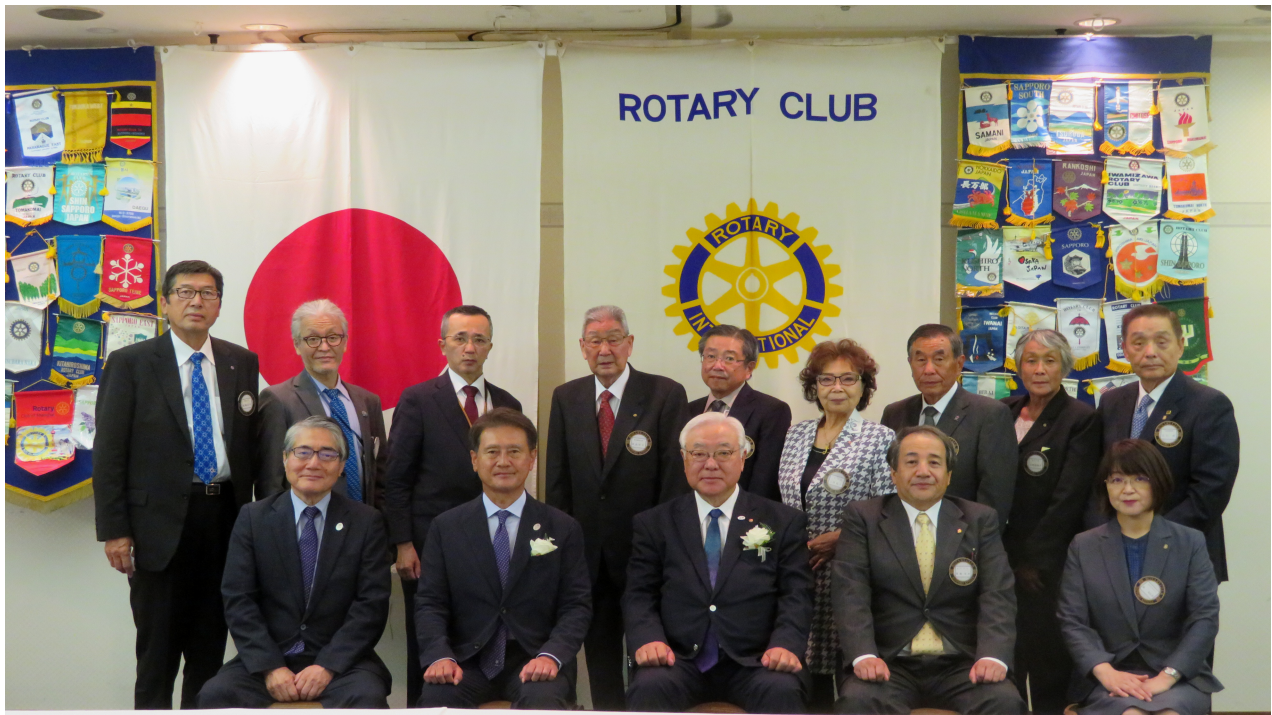
10/4(火)

10月4日プレミアホテルTSUBAKI札幌においてガバナー公式訪問を執り行いました。十分な事前準備はしたものの、やや緊張した面持ちで石丸ガバナー、平ガバナー補佐、河口地区代表幹事をお迎えしました。まず会長・幹事との懇談会ではクラブの概要、会員構成、活動状況を説明し、当クラブは少人数ではありますが、地域に根ざした活動を会員一丸となり続けてきたことを説明いたしました。その後休憩を挟み、クラブアッセンブリーを開催いたしました。

冒頭のガバナーのあいさつに続き、各委員長の活動計画を発表いたしました。その際ガバナーより、できるだけ委員長さんのご自身の言葉で発言していただきたいとの要望があり、各自がロータリーへの思いを込めての発表が出来た事は、実に新鮮でありました。ガバナーからは少ない人数でも広く活動できている点、小学校への図書寄贈を行っているなら、ぜひ読書感想文のコンクールを行うと、より素晴らしいものになるなどのアドバイスをいただきました。クラブとして今後の検討課題にしていきたいと思えます。

その後の例会ではガバナーより卓話をいただきました。ロータリー財団はウクライナ支援のための基金を開始し、当地区もそれに準じレスキュー車提供などの支援活動をしている事。また、ポリオ根絶キャンペーンをラジオ局より発信し寄付を広く呼び掛ける活動や地区のライラ活動への参加協力の内容などの説明を受けました。最後には今年度のテーマに沿ってクラブの将来像を打ち立て、新たな事業、青少年の支援を充実させる事。そして会員の職業をより理解するために、会員卓話を充実させる事の重要性を話され、さらに認識を新たにいたしました。その後参加者全員で記念写真を撮り散会となりました。

石丸ガバナーの懇切丁寧な説明と、温かみのある会話に終始なごやかな時間を過ごすことができました。会員一人ひとりにとっても今後の指標となる有意義な一日になったと思えます。石丸ガバナー、平ガバナー補佐、河口地区代表幹事におかれましてはご多忙中のなかの訪問、会員一同心より感謝御礼申し上げます。



## 札幌大通公園ロータリークラブ

10/4(火)

札幌大通公園RCは、去る10月4日（火）、石丸修太郎ガバナー、平昌夫ガバナー補佐、中村真規幹事をお迎えすることができました。当日は17:30より会長、幹事、委員長が各々、クラブの現況や今後の計画をご報告申し上げ、続いて18:30より例会にご案内いたしました。当クラブは夕刻に例会を行っておりますが、月2回のうち1回を「ほっとパーティ」と定めています。すなわち、会員各位が飲食物を持ち寄り、親睦を深め合う会です。通常は月の後半に催されますが、今回はガバナー公式訪問に合わせ、前半に移動させました。

点鐘、「我らの生業」斉唱、「4つのテスト」唱和に続き、乾杯の後、ガバナーの卓話を賜りました。最初に、J・ジョーンズ国際ロータリー会長のテーマ、「イマジン、ロータリー」、およびガバナーの「ロータリーに思いを馳せる～明日のロータリーに夢を込めて」の関連性につき、ご教示いただきました。続いて、それらに即した具体的な方策をご説明くださいました。会長としましては、国内およびグローバルな経済、社会、政治の大転換の渦中であって、いかに会員と寄付金とを拡充しつつ、奉仕活動をより盛んに、効果的に為すべきかにつき、中長期的な展望を持つのが枢要である、と理解いたしました。当クラブに関していえば、財団、米山学友の会員が複数おり、財団留学生のスポンサー活動に注力してきたことから、明日のロータリーを担う潜在的な会員とつながる機会を把握できるのではないか、と希望を持ちました。

卓話終了後には飲食、歓談の流れとなりました。ガバナーは蒸留酒のジンと、おつまみの落花生をお持ちになりました。いずれも、近辺で入手できるものと姿かたちこそ似ていましたが、香り、口触り、味が全く異なり、気品が漂っておりました。会長初め、同席した会員は漏れなく、アルコール飲料に目がありませんが、ガバナーはいずれであるのか分かりかねていたため、当初は殊勝にしておりましたが、次々に杯を空けられ、楽しくご歓談されるお姿を拝見し、すっかり打ち解けて、通常通り、それ相応の分量を嗜むことができました。ガバナーの気さくなお人柄に触れることができ、一同は感激至極でありました。今後とも上記のテーマに即して、着実な活動を続けたく存じますので、ご叱正ご教導のほど、何卒お願い申し上げます。



## 新札幌ロータリークラブ

10/5(水)

10月5日(水)新札幌RCに石丸修太郎ガバナー、平昌夫第5グループガバナー補佐、川端忠範地区財務委員長がいらっしゃいました。

10時から会長・幹事会を行い、会員数や年齢層・ロータリー歴等に関するクラブの現状や会員増強についてなどを会談させて頂きました。

また、クラブ運営に関する事としてニコニコボックスの用途などについて、財務委員長よりアドバイスも頂き、有意義な懇談会となりました。

11時からのクラブ協議会では各委員長の活動方針報告以上に、石丸ガバナーよりお題を頂き、「ロータリークラブに対する各自の想い」を発表する事となり、参加会員からも普段なかなか聞けない各会員の想いを聞ける場となりました。

12時30分からのガバナー公式訪問例会は通常進行にて行われましたが、バナー交換後の石丸ガバナーの卓話では、国際協議会の事についてのお話から始まり、今年度のRI会長のテーマについて、ロータリーの将来についての創造や私たちに何が出来るのか、ロータリーに何が出来るのかを皆で想像し、地区目標についてのお話に移られました。

地区目標は4つ、一つ目は「未来ビジョン委員会」

3年後、5年後、10年後に自クラブどうなっていたらいいのか、その目標には何が必要なのか。その為に会員増強であったり色々な所に派生されていくのではないのか。

二つ目は「新しい事業へのチャレンジ」

多くの会員の才能をフルに活用して何か事業をする。これがロータリーらしさ

三つめは「若い世代に対して何か良くしたい、支援したい」

次の世代を育てる事はロータリーとして最大の喜びになるというのが石丸ガバナーの思いであり、青少年に対する支援活動も少しはやりましょう。

新札幌に於いては若い子供達、青少年に目を向けている事も評価頂きました。

四つ目はコロナ禍に於いて活動出来なかった数年間がありました。現在は人もある程度動くようになってきたので「何かをやる前提で色々な活動計画を」という事でした。

コロナ禍だから進んだIT、会員同士でのLINEでのやり取りなど、ITを上手に使いながら活動計画を立て実践して頂ければというお話を伺いました。

コロナ禍から抜け出し、みんなが本当にロータリー活動に心から楽しい、達成感のある活動に力を注ぎ、いい仲間と言いつつ活動をする事が最高の事であると締められました。

最後にはVTTの紹介や来年の国際大会についてのお話、来年2月の国際ロータリースキー同好会の案内も頂き、ロータリー活動のエンジョイ、クラブも盛り上げ会員も増やして元気な新札幌ロータリーの発展をと激励を受けた卓話となりました。



## 札幌東ロータリークラブ

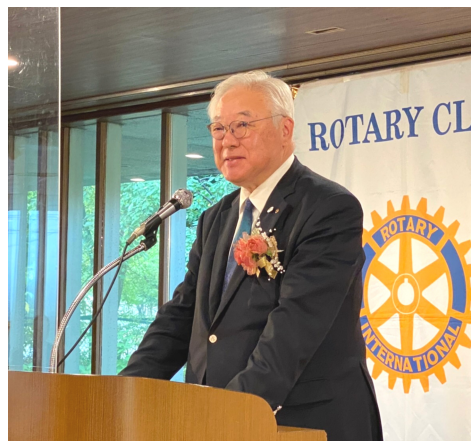
10/6(木)

10月6日（木）に石丸修太郎ガバナー・平昌夫第5グループガバナー補佐・河口義憲地区代表幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立ち、10時30分から行われた会長・幹事懇談会では、当クラブの概況やウクライナに関わる第2510地区対応など、和やかな雰囲気の中で懇談が行われました。

11時からのクラブ協議会では、石丸修太郎ガバナーのご提案により、「活動計画書については書面で確認できるので、委員長としての立場からどんな思いであるのか。またご自身のロータリー観を話してほしい」とのご要望が出されました。各委員長からのお話から、皆さんの札幌東RCでの経験が人生に役立っていることが伝わったと感じました。また、石丸修太郎ガバナーへの質問についても、快くご回答いただくなど、ガバナーのお人柄を認識することができたとても良いクラブ協議会でした。

12時30分からの例会では、RIテーマである「IMAGINE ROTARY」、これを石丸ガバナーがRI2510地区の会員にわかりやすく伝えるために「ロータリーに想いを馳せる ～明日のロータリーに夢を込めて～」としたこと、ならびに4つの目標についてご説明いただきました。そして最後に国際奉仕について、ご自分の身をもって国際親善を経験してほしい、また日本独自の取組である米山奨学生の輩出による日本と他国の親善大使の人材を養成しようと呼びかけられるなど、とても有意義な時間を過ごすことができました。ご多忙の中、クラブをご訪問いただき心より感謝申し上げます。





## 札幌幌南ロータリークラブ

10/7(金)

去る、2022年10月7日、石丸修太郎ガバナー、平昌夫第5グループガバナー補佐、川端忠範地区財務委員長をお迎えして、当クラブのガバナー公式訪問が執り行われました。

例会に先立ち、最初に会長・幹事懇談会が行われました。同会では、当クラブ会長及び幹事より、当クラブのテーマである「明るい未来のために」のご説明、その他の運営方針及び活動内容の報告が行われました。石丸ガバナーからは、当クラブの奉仕活動の独自性、多様性、回数等について非常に立派であるとお褒めの言葉を頂きました。また、当クラブから地区委員会の委員長及び委員を多数輩出していることにも言及され、地区での活動への貢献についての感謝のお言葉を頂きました。

次に、ガバナーご一行様と当クラブ理事、委員長及び部門長を交えたクラブ協議会が行われました。このクラブ協議会では、例年、各委員長及び各部門長からの奉仕事業等の報告がなされるのが通例でしたが、石丸ガバナーが事前に活動計画書を隅々までご覧になって来られており、かつ、会長・幹事懇談会においても活動概要の報告を行ったことから、石丸ガバナーから「活動の内容ではなく、ロータリーに対する想いを聞かせてほしい。」とのご要望がありました。これを受けて各委員長及び各部門長から、「もっと勉強を重ねて自分を高める場にしていきたい。」「ロータリーを通じて奉仕が何たるかを考え、仕事に活かしていきたい。」といった発言がありました。非常に斬新な企画ではありましたが、その場の熱量が上がっていき、各人のロータリーに対する考え方を再構築する絶好の機会となりました。

そして、ガバナーご一行様をお迎えしての例会が行われました。当日、新入会員の出席があったため、石丸ガバナーからバッジを付けて頂き、ロータリーへの歓迎のお言葉を頂きました。メインプログラムであるガバナーの卓話においては、まず、本年度の地区のテーマが、ジェニファー・ジョーンズRI会長のテーマを敷衍し、明確にするようなものであるとのご説明があり、次に4つの地区目標についての詳しいご説明がありました。この中では、「会員ひとりひとりが持つ力を合わせ、活動ができれば、とても大きな力が発揮できる。」ということが印象的なお話でした。これに加えて、地区大会、世界大会、国際ロータリースキー同好会への参加の呼びかけなどがありました。

この公式訪問では、総じて、石丸ガバナーのロータリーへの強い想いを感じるとともに、個々のロータリアンの力を引き出し活用することこそが真の「職業奉仕」ではないか、というお考えをお教え頂き、各会員が大きな学びを得たのではないかと思います。

この度は、当クラブへのご訪問を頂きまして誠にありがとうございました。



## 札幌ライラックロータリークラブ

10/7(金)

令和4年10月7日（金）札幌ライラックRCにおいて、石丸修太郎ガバナーをお迎えしての公式訪問が行われました。

例会前に行われた【会長・会長エレクト・幹事懇親会】においては石丸ガバナーのほか、平ガバナー補佐・中村地区幹事にもお越しいただいており学童支援を通じて会員増強の方法等、具体例を示し多くの貴重なアドバイスをいただき今後の運営に大変参考になりました。

午後6:30より、訪問頂いた地区幹事の皆様とともに例会は始まりました。

石丸ガバナーとバナーの交換を行い、そしてコロナで中断していたロータリーソングもこの例会で復活致しました。

石丸ガバナーより、「ロータリーに想いを馳せる」についてのお話があり、またコロナ禍の中でも例会や奉仕活動の運営にも工夫を凝らしてとにかく楽しみながら行って下さいと励ましていただきました。

我々役員も、今期のテーマそして地区方針をしっかり学ぶことができましたので、会員自らが豊かな人生となるような奉仕活動を実施してまいりたいと思います。

例会終了後、記念撮影を行い和やかに終了し有意義な例会となりました。

私達のクラブの喫緊の課題は、会員数の増加と未来のロータリアンの育成にあると自覚しています。「次の例会が楽しみで待ち遠しい」と皆様に思っただけのクラブを目指して、いろんなことにチャレンジしていきたいと思います。

本日参加の皆様には、公式訪問の成功に尽力して頂き本当にありがとうございました。



## 羽幌ロータリークラブ

10/20(木)

2022-23年度の羽幌RCのガバナー公式訪問は、当初、7月中旬の予定でしたが、町内、クラブ内でのコロナ感染が急激に増えたため延期となり、令和4年10月20日に開催されました。石丸ガバナー、徳田地区幹事、忠津第一グループガバナー補佐、で当クラブを訪問されました。

石丸ガバナー、徳田地区幹事が前日より来町するというので、ささやかながら食事会を開催し、全員抗原検査を実施してお酒を飲みながら歓談いたしました。注) 全員少し飲み過ぎたみたいです。

翌日、午前10時から会長、会長エレクト幹事との会議が行われ、当クラブの運営にかかわるアドバイス等をいただきました。

そのあとクラブ協議会が開催され、各委員会の活動計画やロータリーに対する思い等が、委員長より発表され、意見交換が行われました。その中で、当クラブの職業奉仕委員会が企画している「職業奉仕賞」に石丸ガバナーが着目され、石丸ガバナーが学んだ職業奉仕の考え方を述べられ、職業奉仕に対する方向性を改めて考える場面となりました。

12時15分からの例会では、石丸ガバナーよりロータリークラブの最新情報や、地区大会への全員登録に感謝を述べられ、また、メルボルン国際大会への参加要請をされておりました。

和やかな雰囲気の中、例会が終了し記念写真を撮って終了した2022-23年度のガバナー公式訪問であ



## 札幌モーニングロータリークラブ

10/26(水)

10月26日（水）午前7時30分よりセンチュリーロイヤルホテル20階にて、石丸修太郎ガバナー、古野重幸ガバナー補佐、河口義憲地区代表幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会が開催されました。前日のクラブ協議会時にお話しされた石丸ガバナーの予言通り快晴の空のもと、さわやかな朝のすがすがしい景色を眺めながらラジオ体操で気持ち良く体を整え、札幌モーニングRCのオリジナルソング「さわやかな朝に」を歌い、大変和やかな雰囲気の中、例会がスタートしました。

石丸ガバナーからは、ジェニファー・ジョーンズRI会長の本年度の方針、地区での取り組み、会員の動向等多岐にわたってお話を頂きました。また我がクラブの独自の活動であるカミネッコン植樹や青少年奉仕活動に関しご理解を示され、今後の活動に関しても多くの期待の言葉を頂戴しました。また、前日の10月25日（火）には、会長・幹事懇談会及びクラブ協議会も行われ出席者である会長他各役職の会員の話に熱心に耳を傾けて頂きました。

更にクラブ協議会後に行われました懇親会におきましても、ざっくばらんにお話頂きましたおかげで、当クラブの会員も石丸ガバナーに対し、より親近感が増し、身近にお話ができる貴重な機会となりました。

大変ご多忙な中での2日間にわたる公式訪問、誠に有難うございました。



## 札幌ロータリークラブ

10/26(水)

地区大会が終わって間もなくの10月26日、石丸修太郎ガバナーに公式訪問をいただきました。ガバナーのほか古野重幸ガバナー補佐、徳田雄大地区幹事にもおいでいただき、あらためて感謝いたします。

例会に先立ち、午前10時30分から会長・幹事懇談会を開き、クラブ運営の在り方、悩みなどについて忌憚なく意見交換をさせていただきました。11時30分からはクラブアッセンブリーを開催し、理事、役員、各委員長25人が出席。石丸ガバナーからのお題は「それぞれのロータリー観」。限られた時間でしたが、全員が、ロータリーへの思い、入会の動機、ロータリーで得たものなどを発表しました。日頃の活動を通じてお互いを知っていたつもりでしたが、改めて、ロータリーとのかかわりを聞くことで、新たな発見がたくさんありました。ガバナーのお題が、当クラブの良い刺激になったことは間違いありません。



例会では、石丸ガバナーの卓話から、ガバナーご自身のロータリー観を知ることができました。「ロータリーだからこそ、胸襟を開いて学ぶことができる。自分の才能をロータリーの仲間と分かち合おう。皆のことを知って学ぶことで自分を高めることができ、それが仕事、生活、家庭の全部にプラスに働くはず」というお話に、ロータリーの価値、ロータリアンであることの意義を再認識しました。会員であることに迷いがあったとしても、ガバナーのお話で、大いに励まされたことと思います。

当クラブが順調に会員を増やしていることについて評価いただき、その上で「ロータリーは発信することが大事。ロータリークラブはますます元気に外に発信してください」との激励を頂戴しました。

年度終了まで残すところ半年。折り返し地点でガバナーの訪問を受け、当クラブみな新たな気持ちで奉仕の精神を心に刻みました。



## 札幌西北ロータリークラブ

10/27(木)

去る10月27日（木）石丸修太郎ガバナー、古野重幸第4グループガバナー補佐、川村忠地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問が行われました。

午前10時30分からの会長、会長エレクト、幹事との懇談会では、石丸ガバナーの気さくなお人柄に導かれ札幌西北RCの奉仕活動などについて楽しく懇談させていただきました。午前11時30分から開催したクラブ協議会では、石丸ガバナーより「皆さんのロータリー感をぜひお聞かせいただきたい」とのご要望を受け、参加した各委員長と入会3年未満の会員から一言ずつお話しさせていただきました。会員同士でもなかなか聞く機会が少ないそれぞれのロータリー感を共有できた貴重な機会となりました。

その後の例会では、石丸ガバナーより、第2510地区の奉仕活動としてウクライナへの支援やポリオ支援について詳しくお話をいただき、また米山奨学生への支援について、奨学金を受けた日本を愛する優秀な人材が世界各国で活躍し、この緊迫した世界情勢の中で日本と世界をつなげる架け橋となっていることをお話しいただきました。ロータリーの活動が日本、そして世界の平和と調和に重要な役割を果たしていることを改めて深く理解する貴重な機会となりました。また、10月に開催された地区大会において当クラブがコ・ホストを務めたことに、感謝のお言葉も頂戴致しました。

最後に石丸ガバナー、古野ガバナー補佐、川村地区幹事を囲みメンバー全員で記念写真を撮影し、公式訪問を終了しました。

全てのプログラムにおいて石丸ガバナーの温かく懐の深いお人柄に触れることができ、会員一同学びの深い、大変有意義な時間を過ごさせていただきましたことに、改めて感謝を申し上げます。



## 札幌手稲ロータリークラブ

10/29(土)

令和4年10月29日(土)、石丸ガバナー、古野ガバナー補佐、中村地区幹事を迎えての公式訪問がありました。

会長・幹事懇談会では、平川会長より当クラブの奉仕活動の主な事例として下記の事業の報告がなされました。

- ①「ロータリー杯争奪西区・手稲区中学校スポーツ大会」
- ②高校生奨学金事業
- ③「地域に花を」プロジェクト
- ④「未来ビジョン委員会」
- ⑤ZOOMを活用した例会、SNSを利用したコミュニケーション
- ⑥会員増強について

石丸ガバナーは特に、「ロータリー杯争奪西区・手稲区中学校スポーツ大会」の歴史と今年度で終了することに至った経緯に興味をもたれ、「大変意義のある事業を長年継続してきたことは素晴らしいことです」とのお言葉をいただきました。

クラブアッセンブリーでは、各委員会からの活動報告を受け、特に石丸ガバナーが力を入れられております青少年奉仕委員会の活動を受け、「青少年奉仕に力を入れてこられた札幌手稲RCの皆様こそ、ローターアクトクラブやRYLAへ積極的に参画してほしい」と熱弁されました。また増強部門の発表に対しては、「会員減少の危機感を感じて、クラブが一丸となり、オリジナリティあふれる増強活動をしている」との賛辞をいただきました。例会の卓話では、石丸ガバナーが職業奉仕に関する考え方のお話をされ、「職業奉仕とは、ひとりひとりが持っている才能を情報として会員と共有することであり、ロータリアンはその才能を使って人のために役に立てないかと思う人の集まりである」とお話しされました。

この理解は、大変わかりやすく勉強になったと会員からも感想が聞かれました。

今回の石丸ガバナーの公式訪問は、当クラブの活動や想いを理解していただけたことと共に、石丸ガバナーのお人柄がよくわかり極めて有意義でありました。

心より感謝申し上げます。



## 札幌西ロータリークラブ

11/1(火)

11月1日(火)、札幌プリンスホテル国際館パミールにおいて、国際ロータリー第2510地区の石丸修太郎ガバナー、古野重幸ガバナー補佐をお招きして「ガバナー公式訪問」を開催しました。

11時半から始まった「クラブアッセンブリー」では、各委員長からの活動状況報告に併せて、石丸ガバナーより「ロータリーに対する思い」についても聞かせてほしいという要望があり、各委員長より活動報告とともにロータリーについて思うことを発表しました。同席していた新会員の方々からも各委員長の考えに触れて参考になったとのご意見もありました。

12時半からの「公式訪問例会」では石丸ガバナーより卓話をいただきました。1905年2月23日にアメリカ合衆国イリノイ州シカゴの一青年弁護士であったポール・ハリスが、親しい友人3人と始めたロータリーの誕生から現在に至るまで、一業種ひとりの撤廃をはじめ時代に応じてその在り方が変化していったという振り返りがありました。

また、四大奉仕のひとつである職業奉仕の捉え方について、石丸ガバナーがご入会された当初は職業奉仕があるからロータリーなのだという説明があり、活動していく中で次第に、自分の職業を理解してもらおうと同時に皆さんのことを理解しようとするのが肝要で、ひいてはそれが職業奉仕への理解と推進につながるという思いに至ったそうです。

ロータリー財団の活動に関しては、2月24日からロシアの侵攻を受けているウクライナへ、災害対策基金にてラトビア経由で消防車を寄贈する話題がありました。ロータリークラブが法人格をもたないことによるラトビアへの送金上の諸問題などがあり、結果的に時間がかかってしまったようでした。

米山奨学生について、現状ひとり当たりの平均寄付金額を下回っているというご指摘があり、今後も支援を継続するべく、寄付を奨励する呼びかけもありました。

地区の告知として、2023年2月11日より、国際ロータリースキー同好会の行事が倶知安町にて実施されること、また2023年5月12日より3日間、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)が予定されており、札幌西RCが世話役になるとのことで、その協力依頼のお言葉をいただきました。ガバナーとしてホームでの公式訪問ということもあり、和やかな雰囲気にも包まれた例会でした。





## 米山奨学生紹介

### 「国際的な海洋人材を目指して」

2022-23年度米山奨学生

シュ ケンキ

北海道大学・函館五稜郭RC

皆様、こんにちは。朱妍卉と申します。現在北海道大学環境科学院水圏生物専攻の生態系解析変動分野に所属している博士3年生です。2012年に来日し、2014年に北海道大学の水産学部に入りました。

高校生のときから海が好きで、海に関係する仕事に就きたいと考えていて、水産業が発展している国に留学しようと考えていました。日本の水産関係の大学や大学院、企業の研究所では、毎日先進的な基礎研究や応用研究が行われ、次々に新しい技術や理論が生み出されています。これらの科学技術や学術理論は、水産関係の人々の生活や社会を支える道具となり、考え方となっています。ですので、自分も好きな海に触れつつ、水産関係の大学で知識を学んで、その知識を日本と中国の水産業に活かしたいと思い、日本の水産関係の大学に留学しようと決めました。

大学4年生から今まで、魚群探知機を使って、日本沿岸海域の資源量と海洋環境に関することを研究していました。博士課程では、宮崎県日向灘海域において漁海況情報の取得技術の開発と、リアルタイム情報配信システムの構築を研究テーマとしました。16隻の漁船に搭載されている魚群探知機・温度計・潮流計などで、操業日のデータを得られることから、より広範囲・高頻度、かつ多数の基礎情報が取得できます。それらの基礎情報を解析することによって、より詳細に資源量と海洋環境の変動・関係を把握することができます。また、それらの情報は3G回線を通して管理サーバに送信し、データ処理を行った後に魚群分布情報を漁業者に公開する仕組みを構築し、操業の効率化に貢献することが期待されています。

大学時代にフィールド調査を通して、多くの人と関わりあい、協力しながら一つのことを達成することが多く、漁業現場における調査研究は漁業者を始めとする現地の関係者と密に協力して調査を行うことが不可欠だと分かってきました。これまで数年にわたり調査を続け、漁業者や現地関係者とも友好的な関係を築き、日本の沿岸漁業の問題や深刻な状況も目に見えてきました。ですので、卒業後は水産試験場で働きたいと考えています。自分が大学で学んだ知識や身につけた能力を活かし、漁業者の高齢化や漁獲量の不安定性といった問題を抱えている日本の沿岸漁業に貢献したいと考えています。

将来的には、アジアに限らず国際的な人材になりたいと考えています。日本の大学・社会で身につけた多角的にものを見る力、冷静に考える力、コミュニケーションを上手にとる力等々を使い、国際的な海洋人材になりたいという強い意志を持っています。やはり海は全世界を繋げていますので、海に関するものは全世界共通・共有できると思っています。日本で学んだ知識を活用し、視野を広げ、世界的な海洋問題・資源問題などに力を入れたいと考えています。



## 2023年メルボルン国際大会のご案内（第一報）



地区RI国際大会推進委員会

委員長

福井 敬悟

(札幌手稲RC・PG)

2023年国際大会は、5月27日（土）～31日（水）にかけて、オーストラリア・メルボルンにて開催されます。メルボルンはオーストラリア南東部の海岸沿いにあるビクトリア州の州都で、「エコノミスト」誌の「世界で最も暮らしやすい都市」で1位を獲得しています。

第一報として、メルボルン・シドニー7日間のコースをご用意致しましたのでご案内いたします。歴史的な建物や文化が残る自然豊かな落ち着いた都市・メルボルンと、近代的な大都市・シドニーを楽しめるコースとなっています。是非、ご家族お誘いあわせのうえご参加いただき、コロナ禍で旅行が制限され会えなかった友と、そしてまだ会ったことのない世界のロータリアンと、ロータリーの絆を深めましょう。多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

- ◎ 設定人数 : 20名様
- ◎ 申込締切 : 2023年1月31日（火）
- ◎ 旅行費用 : お一人様 400,000円

### 【 利用予定航空会社 】

国際線及びオーストラリア国内 : カンタス航空      日本国内線 : 日本航空

### 【 利用予定ホテル 】

メルボルン : モーベンピック ホテル メルボルン オン スペンサー（予定）  
メルボルン駅 正面で国際大会会場まで徒歩15分の位置にあるデラックスホテル  
シドニー : ソフィテル シドニー ウェントワース（予定）  
シドニーの中心街にあり象徴的な建造物として知られているデラックスホテル

### < 旅行費用に含まれるもの >

- ・航空料金 カンタス航空、日本航空のエコノミークラス ※ 2022年9月現在、燃油費用が含まれています。
- ・宿泊料金 メルボルン 3泊 シドニー 1泊 朝食付き ※ 2名1室利用
- ・日程表の送迎費用 空港とホテルの送迎及び、団体行動中は係員がご案内いたします。

### < 旅行費用に含まれないもの >

- ・空港利用料、その他諸税 約20,000円（2022年9月現在のものの変動があります）
- ・任意 / 国際大会登録料（各自）、北海道ナイト参加費（各自）、  
オーストラリアETAS電子入国査証（入国必要条件）OP（オプションツアー：食事、観光）、  
海外旅行保険、一人部屋希望者追加費用 100,000円

### 【 ご案内事項 】

- ・参加人数を20名様で旅行費用を算出させて頂きましたが、人数に満たない場合は変更になる場合がございます。また、お一人部屋、ベッドタイプのご希望は施設の事情によりご希望に添えない場合もございますので予めご了承ください。
- ・なお、御取消料は国際大会による現地施設の都合により、お申込み後からは旅行費用の10%がかかります。その後、御取消料はお取消し日により取消料率が変わります。（国際大会期間の為、規定が厳しいことをご理解願います）

【 お申込み・お問合せ 】 : (株)産経海外旅行 札幌市中央区北1条西7丁目 タキモトビル4階  
電話 : 011-271-5388 F A X 011-271-5621 担当 : 斉藤・矢田目

## メルボルン国際大会 メルボルン・シドニー

旅行期間：2023年5月25日（木）～5月31日（水） 7日間

設定人数：20名様

	日付		発着地	時間	交通機関	旅行行程	朝食	昼食	夕食
1	5月25日	木	新千歳空港 発 羽田空港 着 羽田空港 発	17:00 18:40 21:30	JL518 QF80	日本航空にて羽田空港へ カンタス航空にてメルボルンへ 機内泊	-	-	機内
2	5月26日	金	メルボルン 着	09:00	送迎車	入国手続き後、送迎車でホテルへ ・メルボルン市内観光（OP） メルボルン泊	機内	-	-
3	5月27日	土				終日：自由行動 ・メルボルン国際会議場 ・国際大会受付 ・友愛の家 グランドオープン メルボルン泊	○	-	-
4	5月28日	日				終日：自由行動 ・開会 本会議 ・2510地区 北海道ナイト ※ ザ・ホテルウインザー メルボルン泊	○	-	-
5	5月29日	月	メルボルン 発 シドニー 着	13:00 14:25	送迎車 QF444 送迎車	ホテルより空港へ カンタス航空にてシドニーへ 到着後、空港よりホテルへ シドニー泊	○	-	-
6	5月30日	火	シドニー 発	20:55	送迎車 QF25	終日：自由行動 ・シドニー市内観光（OP） ホテルより空港へ カンタス航空にて羽田空港へ 機内泊	○	-	機内
7	5月31日	水	羽田空港 着 羽田空港 発 新千歳空港 着	06:00 09:00 10:35	JL507	日本航空にて千歳空港へ	機内	-	-

※ 2022年9月現在のスケジュールに基づき作成しております。大会事務局、航空会社、利用施設の都合により変更になる場合もありますので予めご了承ください。

## 2025－2026年度 ガバナーノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 石丸 修太郎  
地区ガバナー指名委員長 福田 武男

2025－2026年度地区ガバナーノミニー候補者として適格な会員が在籍しており、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛、文書（書式任意）をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナーノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第16.010.節～第16.020.節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第12条（ガバナーの指名と選挙）

### 第16.010. ガバナーノミニーの資格条件

理事会によって許可されない限り、ガバナーノミニーに選ばれる人物は、選出の時点で、

- (a) 地区内の機能しているクラブの瑕疵なき会員であるものとする。
- (b) クラブ会長を全期務めた経験があること、または最低6カ月間クラブの創立会長を務めた経験があるものとする。
- (c) 第16.030.節のガバナーの任務と責任を果たす意思があり、これを果たすことができる者であるものとする。
- (d) 細則に定められているガバナーの資格条件、任務、および責任を熟知しているものとする。
- (e) このロータリアンが、ガバナーの資格条件、任務、責任を理解し、ガバナーとしての資格条件を備えており、これらの任務と責任を引き受け、これを忠実に果たす意思を持ち、それができる状態にあることが明記された声明書をRIに提出するものとする。

### 第16.020. ガバナーの資格条件

理事会によって許可されない限り、ガバナーは、就任時に、国際協議会に全期間を通して出席しており、少なくとも7年以上ロータリアンであり、第16.010.節の資格条件を引き続き保持していなければならない。

国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定

(1998-1999年度地区年次大会決議第8号)

2019年手続き要覧抜粋

## ガバナー四方山話

### 第6回 マリスコスとビーノ

1984年6月でニューヨークのPMM会計事務所を辞めて日本に戻りましたが、それは日本の公認会計士となるための第3次試験を受験するためでした。東京で受験予備校に通いながら、PMM系列の東京事務所でアルバイトをさせてもらいましたが、受験が近づいてきた頃、その東京事務所の偉い先生から、スペインに行っていってほしいと言われ、独身の気楽さで、受験が終わった次の週にはスペインはマドリッドに居ました。

マドリッド事務所でスペイン語の勉強をしながらの仕事でしたが、日系企業も少なくのんびりした生活を送っていました。最初に判ったことは、スペイン人は食べ物をこよなく愛し、ワインは水と同様に生活の必需品であるということです。同僚と昼食に近所のレストランに行くと、ビジネスマンらしい人で一杯ですが、席に着くと、注文する前に水をどうすると聞かれ、ガス入りかガス無しかというと、水とワインが1本ずつ一緒に出て来ます。ランチのセット料金に入っているのです。良く食べたのが、ボケロネス・フリトというカタクチイワシのフライでレモン汁をかけて頂くのですがB級グルメ優勝級でした。

仕事が終わって、夜10時にレストランが開くまでの時間、街のバルで立ち飲みをするのですが、ピンチョスというつまみ物を頂きます。その中にギンディージャと呼ばれる青唐辛子があり、これをオリーブオイルで素揚げにしたものが出るのですが仲間で順番に一つずつ食べなければならず、3つか4つに一つは激辛のものがあり、ロシアンルーレットのような気分で盛り上がったのも懐かしい思い出です。

スペインは周りを海で囲まれた大きな島のような地形で、その中心にあるマドリッドには地中海から、大西洋からと様々な海鮮物が集まり、海の物には目の無い自分には天国のような場所でした。

イカ墨料理（チピロネス・スティント）や貝料理に出てくるベルベレッチョやコキーナスにナバハス、それにウナギの稚魚のアヒージョも大好物でした。タコも茹でたものをオリーブオイルとパブリカを振りかけて頂きました。バルセロナでは、シガラスという手長エビや、シーフードの出汁で煮たアロス・アバンダはパエリアとも違い実に美味しく頂きました。

飲み物は当然ワインですが、食事の時はほぼ赤ワインというのが定番で、白ワインは昼下がりのおつまみを頂くときに飲むのが多かった記憶があります。それでも、地方のワイン生産地に行くと、その農協に白いポリタンクを持って来る人たちが、石油でも買うのかと思ったら、白ワインをそのタンクに入れていたのには、驚きました。20リットル単位で白ワインを買う習慣があったのです。値段もガソリンより安いものでした。

スペインの食べ物は海鮮物ばかりではありません。実はお肉も美味しいところですよ。王様の食卓料理が庶民のあこがれであった時の影響だと思いますが、子豚、子羊、子山羊などを頂くのがメインの肉料理ですが、これらがかまどの中でじっくりとローストされたものは実に美味しいのです。子豚は1匹をそのまま焼いて出て来ますが乳離れする直前のもので、お肉も乳の香りが残っています。子羊、子山羊は腿の部分を焼いて出されますがともに肉の臭さは全く無く、味をじっくりと楽しむことが出来ます。

# 新会員のご紹介

敬称略



小樽RC  
加藤 剛  
令和4年11月8日  
電気工事業



小樽RC  
高木 紀和  
令和4年11月8日  
測量



千歳RC  
岡田 博樹  
令和4年8月25日  
基礎工事

## 訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに心からご冥福をお祈り致します



函館北RC  
南木 哲雄 会員  
2022年9月18日逝去（享年78歳）  
【ロータリー歴】 1986年7月 入会  
1988-89年度 幹事  
2004-05年度 会長  
【表彰関係】 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



札幌RC  
中田 輝夫 会員  
2022年10月9日逝去（享年83歳）  
【ロータリー歴】 1981年7月22日 入会  
2009-2010年度 第76代会長  
他各委員長歴任  
【表彰関係】 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

## 月信委員会からのお知らせ

従来ガバナー月信に掲載されておりました以下の記事は、今年度は地区ホームページに掲載をしております。地区ホームページ (<http://rid2510.org>) をご参照ください。

### 【ホームページ掲載記事】

- ・ガバナー補佐名簿
- ・ガバナー公式訪問日程
- ・地区カレンダー
- ・ガバナー事務所スタッフ・担当
- ・地区予算
- ・地区クラブ会長・幹事名簿
- ・地区組織図
- ・ハイライトよねやま
- ・コーディネーターNEWS
- ・ロータリー定期報告関係 等



RI 2510地区ホームページ  
QRコード

## 函館市内ロータリークラブ事務所 移転のお知らせ

この度函館市内ロータリークラブ事務所は、下記の通り移転いたしますのでお知らせ申し上げます。

### <移転先住所>

〒040-0032

函館市新川町1番24号 R4TM新川町 2階B号室

TEL 0138-23-3870 FAX 0138-22-2251

※TEL・FAX・メールアドレスに変更はございません。

### <業務開始日>

2022年12月1日(木)

函館市内ロータリークラブ合同事務所

- ◎函館ロータリークラブ
- ◎函館東ロータリークラブ
- ◎函館北ロータリークラブ
- ◎函館五稜郭ロータリークラブ
- ◎函館亀田ロータリークラブ
- ◎函館セントラルロータリークラブ

## 表紙の解説（第12グループ）

### 厩舎越しの「樽前山」

樽前山（たるまえざん）は、支笏湖の南側、苫小牧市の北西部に位置する活火山です。標高は1,041mで那須火山帯に属し、約9000年前に形成された後カルデラ火山です。

1909年（明治42年）4月17～19日の噴火で、山頂に溶岩ドームが形成されました。樽前山溶岩円頂丘として、世界的にも珍しい三重式活火山として知られていて、北海道指定文化財の天然記念物に指定されています。この溶岩ドームは比較的大きい上に、山体とは異なった色（黒色）をしているために目立ち、樽前山を特徴づけています。樽前山は南から東にかけて高山と隣接していないので、これらの方向からは遠くから見てもこの山が樽前山であることを容易に判別でき、この溶岩ドームが樽前山をランドマークとしやすい山にしています。現在も活発な噴気活動があります。

七合目駐車場まで車で行くことができ、そこから頂上までは約50分程で登ることができます。また、七合目から頂上にかけて高山植物が約80種類以上自生しており、5月から10月にかけて小さな花を咲かせて、登山者の目を楽しませてくれます。更に、東山からは支笏湖などの雄大な景色も堪能でき登山者をはじめ、多くの旅行者から人気を集めています。



表紙の写真は白老町社台（しゃだい）地区の牧場から撮影したものです。サラブレッドといえば日高地方に数多くの牧場がありますが、社台とゆかりのある競走馬も多数おります。





**Rotary**  **District2510**